

亀岡市入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	令和4年1月28日（金） 午前10時から正午 亀岡市役所4階 入札室		
出席委員氏名（職業）	委員長 久保 祐貴（弁護士） 委員 村田 淑子（京都先端科学大学経済経営学部教授） 委員 竹井 明（学識経験者）		
議事概要	（1）総括表について （2）入札契約方式別発注案件一覧表について （3）抽出案件に関する入札経緯等について （4）指名停止等の運用状況一覧表について （5）談合情報対応状況一覧表について		
対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和3年9月30日		
対象件数	43件		
抽出案件	8件		
内 訳		対象案件	抽出案件
	一般競争入札	16件	5件
	指名競争入札	27件	3件
	随意契約	0件	0件
委員からの意見・質問と それに対する回答等	意見・質問	回答等	
	(1)総括表について ・特になし (2)入札契約方式別発注案件一覧表について ・特になし (3)抽出案件に関する入札経緯等について ・予定価格に対する質問はどのようなものか。		・市の積算で採用している単価の確認であった。

	意見・質問	回答等
<p>委員からの意見・質問とそれに対する回答等</p>	<p>・ 予定価格に対する質問の回答は、質問者以外も知ることができるのか。</p>	<p>・ 応札後の予定価格に関する質問の回答については、質問者に回答している。ただし、応札前の閲覧図書に関する質問は、入札参加者全員に周知している。</p>
	<p>・ 土木A1の案件で多くの業者が最低制限価格未満で失格となっている。最低制限価格の設定や、積算内容に問題はなかったのか。</p>	<p>・ 予定価格に関する質問が無かったことや、失格となった入札額が最低制限価格に近い状況からすると、積算内容や最低制限価格の設定に問題はなかったと考える。当該工事については、多くの見積単価を採用しているため、各入札参加業者の採用した見積額の差により、このような入札結果となったと推測する。</p>
	<p>・ 積算において、見積を徴する場合は複数社から取られているのか。</p>	<p>・ 国又は公共団体が作成する積算基準及び積算単価並びに歩掛等や、調査会が作成する物価資料により積算できないものは、積算に必要な最小限の部分について、単価見積を徴収することとしている。徴収に当たっては、3社以上から徴収することを基本とすると定めており、当該案件についても、複数社から見積を徴収している。応札業者がどの業者から見積を徴収しているかわからないが、市が徴収している業者と異なる場合等は積算額に差が生じる場合もある。</p>
	<p>・ 一般競争入札で、入札参加資格を持つ業者全者から参加申請がされていないが、理由は何か。</p> <p>・ 一般競争入札において入札参加申請を行った業者が多く辞退しているものがあるが、理由は何か。</p>	<p>・ すでに他工事を落札し、技術者の配置ができないことや、他の公共団体からも多くの案件が発注されていたことが主な理由ではないかと推測する。</p> <p>・ 同時期に同種工事が発注されていたことや、他の公共団体からの発注も多くあったこと等の影響を受けたのではないかと考える。</p>

	意見・質問	回 答 等
<p>委員からの意見・質問とそれに対する回答等</p>	<p>・舗装工事の指名競争入札における指名業者の数が多すぎるのではないか。</p>	<p>・舗装工事の指名競争入札においては、希望順位等を考慮し指名業者を選定しているが、近年、対象者が多くなったことから、本年度は一般競争入札を採用し適正な競争性確保に努めている。</p>
	<p>・落札額が極端に低い場合に聞き取り等を行っているか。落札額と設計額があまりにもかけ離れていると、良質な工事が担保できているのか。</p>	<p>・入札時に聞き取りは行っていない。工事完成検査時に品質面等に問題が無かったかを確認している。落札率が低い案件については、より丁寧に確認する必要があると考える。</p>
	<p>・指名理由に「過去において工事の実績がある業者を選定」とあるが、過去とはいつのことか。前年度の実績の事か。</p>	<p>・案件指名時までの過去における同種業務実績を、前年度等に限定せず確認している。</p>
	<p>(4)指名停止等の運用状況一覧表について</p> <p>・特になし</p> <p>(5)談合情報対応状況一覧表について</p> <p>・特になし</p>	